

平成24年度 福祉職場の労働環境及び満足度に関する調査報告書

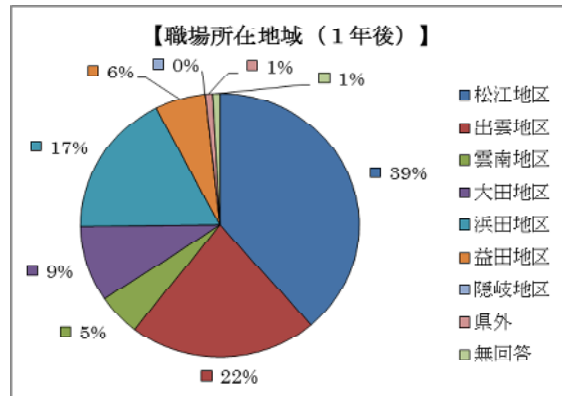
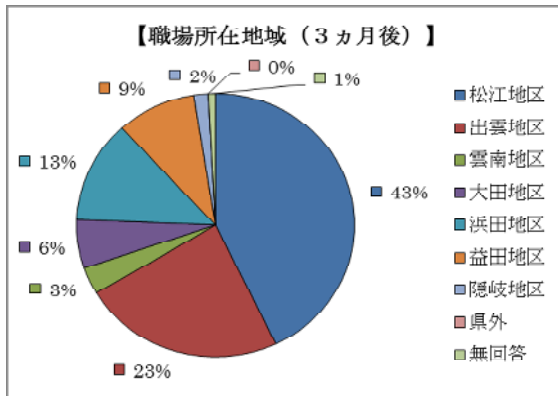
1. 調査目的 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録し就職した職場の労働環境及び満足度の把握
2. 調査時期 平成24年4月～平成25年3月
3. 調査方法 調査票による郵送調査
4. 調査対象 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録をし、就職後3ヵ月経過した方(以下、「3ヵ月後」)、及び1年経過した方(以下、「1年後」といいます。)

5. 回答数・回収率

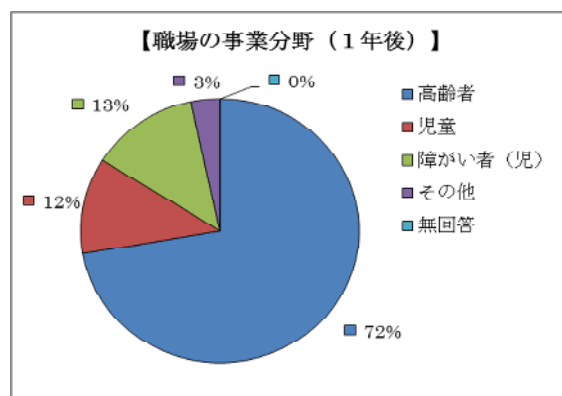
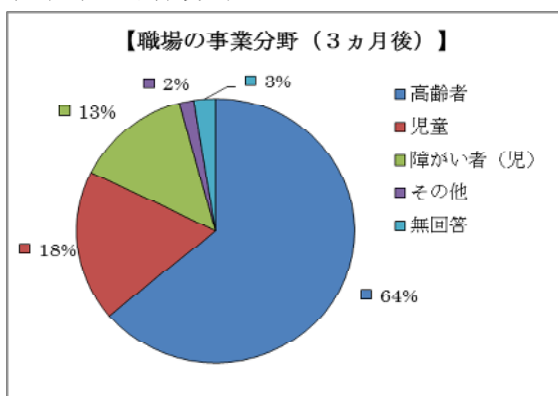
| | 対象者数 | 回答者数 | 回収率 |
|------|------|------|-------|
| 3ヵ月後 | 433人 | 119人 | 27.4% |
| 1年後 | 420人 | 119人 | 28.3% |

6. 回答者の属性

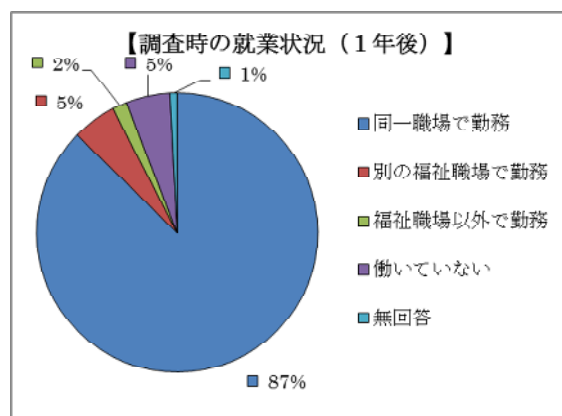
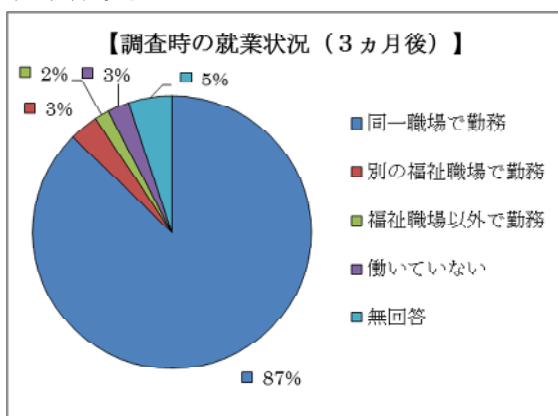
(1) 職場の所在地域



(2) 職場の事業分野



(3) 就業状況



7. 調査結果の概要

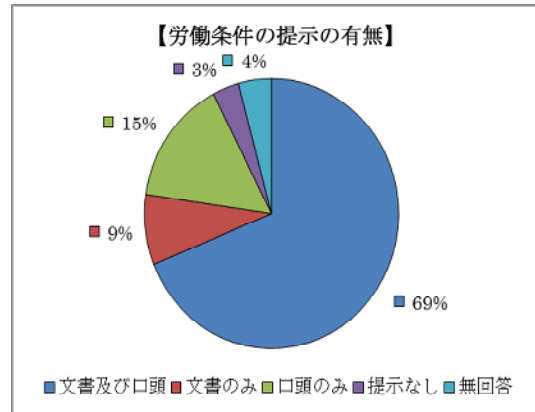
(1) 労働条件の提示の有無

◎約18%が書面の提示なし

労働基準法では、「労働契約の期間」「就業の場所」「従事する業務の内容」「労働時間に関する事項」「退職に関する事項」について、書面の交付による明示が義務付けられています。

労働条件が書面で提示されなかったと答えた割合は約18%あり(H23:16%)、依然として書面提示がないケースがあるようです。

労働条件などでトラブルが発生しないよう、労働契約書や労働条件通知書等による条件明示を行うと共に、各職場の勤務実態について説明することが重要です。

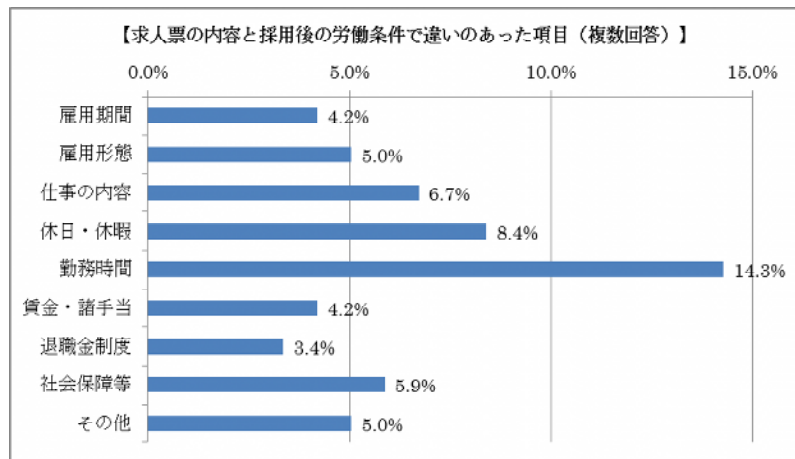


(2) 求人票の内容と採用後の労働条件で違いのあった項目

◎相違点が最も多い項目は「勤務時間」

「勤務時間」について、約14%が求人票と違いがあったと回答しました。他に、「休日・休暇」「仕事の内容」についても、違いがあるとの回答が多くなっています。

求人票の内容に勤務実態を反映すると共に、面接等の機会に、就業時間や時間外勤務の実態、有給休暇の取得実績、業務内容や賃金等の待遇面について、十分に説明しておくことが重要です。

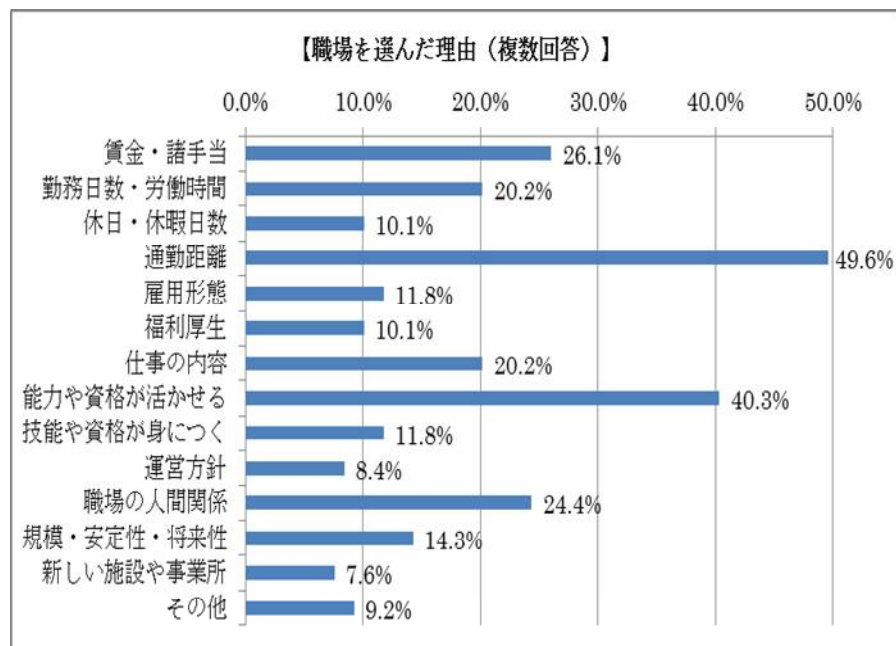


(3) 職場を選んだ理由

◎最も重視されているのは「通勤距離」

職場を選ぶ際には、約半数から「通勤距離」を重視しているとの回答がありました。他に、「能力や資格を活かせる」「賃金・諸手当」「職場の人間関係」等が重視されていました。

福祉職場での就職を希望する方は、専門性を活かすことができ、通勤の負担なく続けることができる職場が求めていると言えます。



(4) 職場に対する満足度

◎満足度の高い項目は「雇用形態」、低い項目は「技能や資格が身につく」

◎3ヵ月後と1年後の比較で下げ幅が大きいのは「福利厚生」

3ヵ月後と1年後を比較すると、「仕事の内容」以外の項目で満足度が下がる結果となっています。

1年後では、「技能や資格が身につく」「賃金・諸手当」「勤務に対する評価」といった項目の満足度が低くなっています。勤務の中で、従事する業務がスキルアップにつながらない、勤務内容に対する十分な評価が行われない、といった不満を感じる人が多いようです。

